

10

物価高で疲弊する生活を再建するため、
消費税を当面ゼロにします

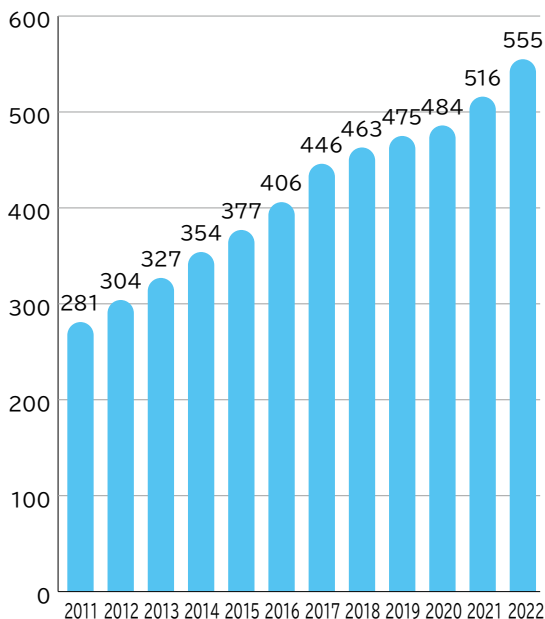
物価高が止まりません。2022年後半から毎月のCPI(消費者物価指数)の上昇が3%以上で推移しており、多くの人々が苦しい生活に追い込まれています。すべての市民が苦しむなかでも、もともと弱い立場にあった非正規労働者、とくに女性たちはそのしわ寄せを集中的に受けて、生活が立ち行かなくなりつつあります。

こうした人たちを支える政府の対応は決定的に立ち遅れています。社民党は物価高からの生活再建のため、消費税当面ゼロ税

率を提案しています。消費税の減税は、素早く幅広い消費者に恩恵を行き渡らせることができます。課税の再開にあたっては、本来の役割であった社会保障財源として検証を行ない、税制全体の改革をすすめます。

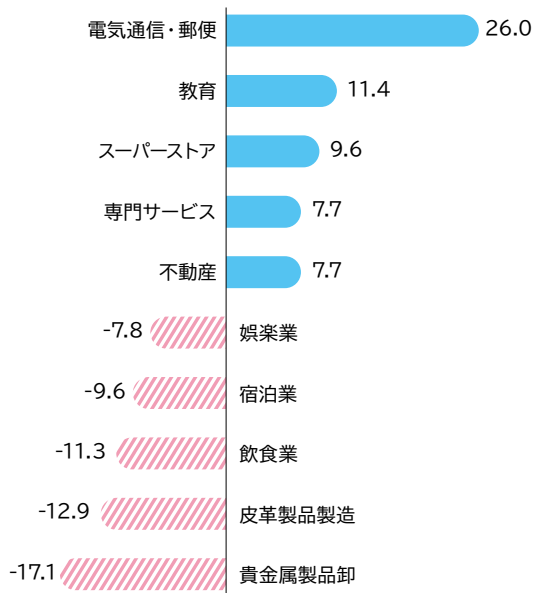
なお、消費税当面ゼロ税率の財源として、企業の内部留保(利益剰余金)に臨時に課税します。物価高でも増え続ける内部留保に課税することで、困窮する生活と社会の底上げをはかります。

内部留保(利益剰余金)の推移(兆円)



出典)財務省「法人企業統計」より作成

売上高前年比平均(%)



出典)帝国データバンク調査より作成

11

すべての労働者の賃上げを目指します。 保険料の減免制度、手当の拡充で、 ひっ迫する国民の生活を守ります

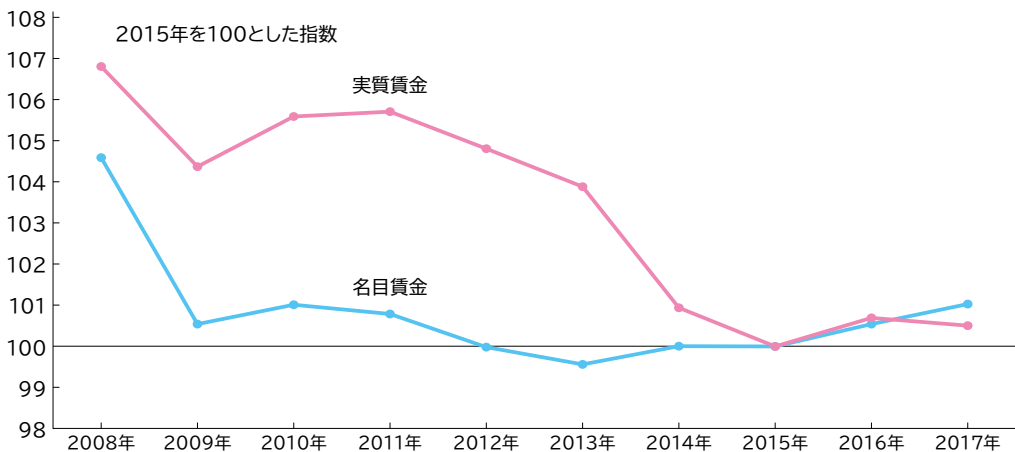
OECD(経済協力開発機構)加盟国の中で日本だけが実質賃金が下がり続けています。2023年の春闘では企業の84・8%が賃上げを実施し、賃上げ率は平均で3・58%(ベア・定昇)と前年比1・51%上昇し、1993年以来の高水準となったにもかかわらず、今年6月の実質賃金は0・2上昇にとどまりました。いまこそ、実質賃金を大胆に上げなければなりません。企業の内部留保を放出させ、正規労働者のみならず、非正規、フリーランスなど全ての労働者の賃上げにつなげます。

一方、石油の値上がりなどによる世界的なインフレは、日本経済にも大きな打撃を与えています。さらに、ロシアのウクライナ侵攻

等により、原材料、輸送費、光熱費など、生産にかかわるすべての経費が世界的に高騰しています。日本の企業や商店も価格に上乘せせざるを得ず、この状況は今後も続く予測されています。

こうしたスタグフレーション(賃金が上がらないのに物価が上がる)の進行は、低所得者層にとって死活問題です。2023年度の年金支給額は増額しましたが、物価高に追いついていません。それにもかかわらず国民健康保険料も介護保険料もアップ、高齢単身者、ひとり親家庭などから悲鳴があがっています。消費税など不公平税制の是正、保険料の減免制度の強化、福祉や手当額などの拡充で国民生活を守ります。

低下する実質賃金



出典)厚生労働省 毎月勤労統計調査 ※毎月勤労統計に不正調査が発覚している

12

不公平税制の是正のため、累進課税を強化し、法人税や金融課税を見直します。 大企業・富裕層には応分の負担を求めます

規制を緩和し大企業や富裕層を優遇し経済活動を活発化させることを重視する「トリクルダウン」の経済政策(アベノミクス)は完全に失敗しました。富める者が富めば、その富がしたたり落ち(トリクルダウン)て貧しい者にも行き渡り、国民全体の利益になるという政策ですが、現実には企業が利益を貯め込み富める者と貧しい者の格差が広がっただけでした。社民党はトリクルダウンではなく、賃金アップや社会保障の拡充による「ボトムアップの経済政策」を提案します。

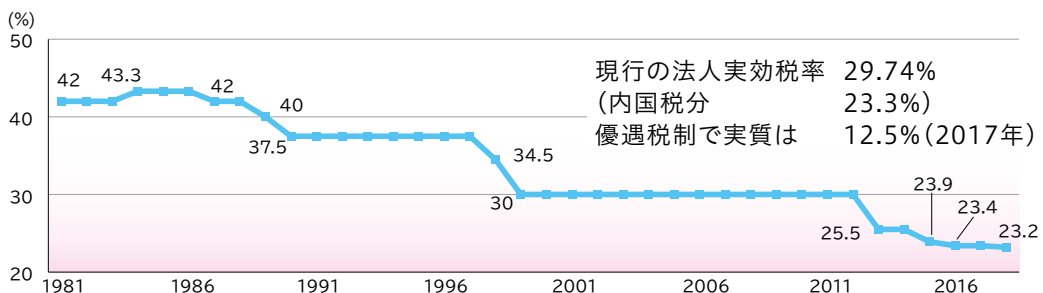
税金には主に①公的サービスの財源を調達する、②所得や資産を再分配する、③景気変動を小さくして経済を安定化させるなどの機能がありますが、この間の新自由主義^注的な政策のなかでその役割が弱まっています。所得課税の累進(所得が多いほ

ど税率が高くなる)性は弱まり、法人税率は下がり続けています。社会保障財源とされた消費税の増税分の多くは企業減税や富裕層の減税の穴埋めに使われ、本来の役割を果たしていません。必要な公共サービスや福祉をしっかりと提供し、その財源を負担する力のある大企業や富裕層の税に求めるのが、社民主義の経済政策の基本です。

2023年10月より適格請求書等保存方式(インボイス制度)が導入されました。中小・個人事業者から免税事業者が取り引きから排除されかねない、コスト負担が過大で対応できないといった声があがるなかで、導入が強行されました。物価高が続き、中小零細事業者の苦境が続くなかでの拙速な導入と既成事実化に反対し、制度の中止・廃止を求めます。

新自由主義(ネオリベラリズム): 国家による福祉・公共サービスの縮小(小さな政府、民営化)と、大幅な規制緩和、市場原理を重視する考え方。自由主義や社民主義と対立する。

日本の法人税率(基本税率)の推移



出典)財務省

13

生活保護申請を抑制する「水際作戦」や 扶養照会をやめさせ、必要な人が 当然の権利として利用しやすい制度に変えます

社会の底が抜けたかのように生活困窮者が増えています。最後のセーフティネットである生活保護制度を、権利として活用できるよう行政に徹底します。各市区町村の福祉事務所窓口で生活保護申請者を追い払ったり、申請書を提出させないよう誘導する「水際作戦」を止めさせます。水際作戦をなくすために、生活保護制度のオンライン申請の導入を検討します。

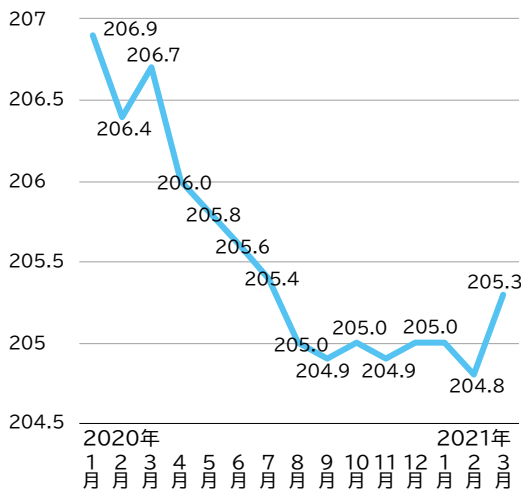
また、自治体が申請者の（民法上の）扶養義務者に対して扶養できるかどうかを問

う「扶養照会」が、生活保護申請をためらわせる大きなハードルとなっています。扶養照会を避け、申請を躊躇し栄養失調や病気、自殺に至るケースも少なくありません。生活保護法上、扶養照会は保護の要件ではないことを行政に徹底し、親族へ連絡されたくないという申請者の意向を尊重させます。申請者の同意なしに扶養照会をしてはならないという通知を各自治体に出すよう厚生労働省へ働きかけます。また、この間引き下げられてきた生活扶助費を引き上げます。

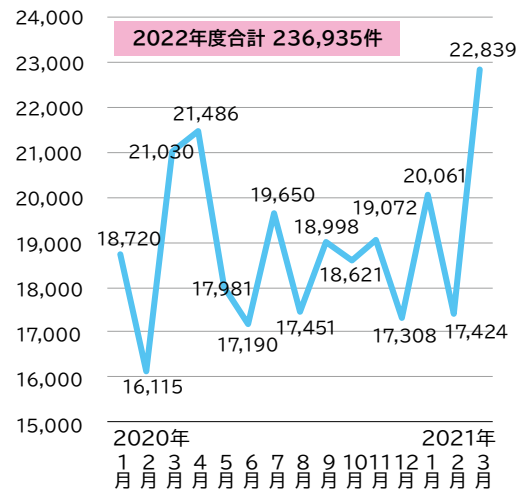
生活保護の最近の状況

2023年の生活保護申請件数は25万5079件にのぼり、4年連続で増加、現行の調査方式になった2013年以降で最多となった。23年12月時点の受給は過去最多の165万3778世帯。

生活保護受給者数(万人)



保護の申請件数(件)



出典)厚生労働省「被保護者調査」を基に作成

14

医療崩壊を食い止めるため、医療機関や 介護・医療従事者を支援します。公立・公的病院の 病床削減に反対し、地域医療を守ります

政府の長年にわたる医療費抑制政策に加え、新型コロナウイルス感染症のまん延により、医療現場が危機的な状況に陥りました。受診・入院ができない感染者が自宅や施設で亡くなり、医師、看護師などの過密過重労働が限界を超えました。一般診療にも影響は及び、医療崩壊が各地で起きました。

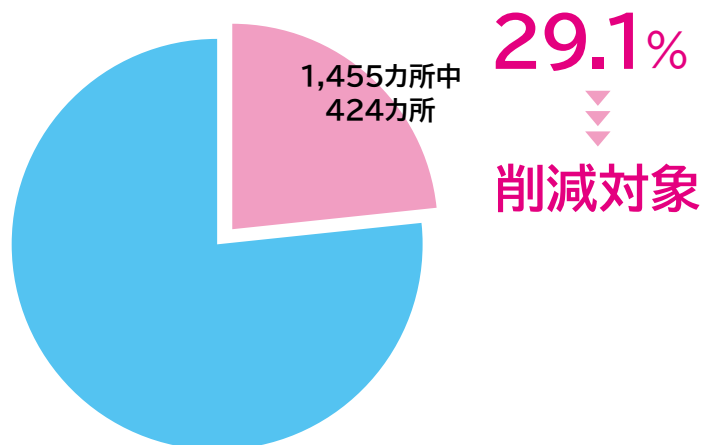
コロナ禍で病床が足りない悲鳴が上がっているなか、政府は2021年の通常国会で、病床削減を加速化するための国の補助金事業（財源は消費税）を法定化する医療法等の改定を成立させました。その対象とされているのは、2019年に再検証対象

医療機関としてリストで名指しされた公立・公的病院（当初424カ所／現在436カ所）です。病床確保が課題の新型コロナ対策と矛盾する補助金事業の改定と対象436医療機関のリストの撤回を求めます。公立・公的病院の統廃合の動きに反対し、地域医療を守ります。

今後も新たな感染症が予想されます。これまで削減してきた保健所、保健師の数を増やし、公衆衛生の強化に取り組みます。医療崩壊をくい止めるために、国の負担を増やして、医療費総枠を拡大します。

統廃合の対象になった全国の公立病院の割合

2019年9月、厚生労働省は全国1652の公立・公的病院（2017年度時点）から人口100万人以上の地域に位置する病院を除いた1455病院のうち、424病院のリストを公表した。



出典)「地域医療構想に関するワーキンググループ」資料(厚生労働省)

15

高齢者に「暮らせる年金」を保障し安心の老後生活を！ 後期高齢者医療制度を抜本的に見直します

2022年10月から政府は、75歳以上を対象に病院などの窓口で支払う医療費の負担を1割から2割に引き上げました。単身者では年収200万円以上(年金含む)、複数世帯では合計年収320万円以上の約370万人(75歳以上の高齢者は1,815万人)が対象者となり広範な高齢者に影響が及んでいます。負担が2倍に増えれば受診を控える高齢者が増え、早期発見・治療が遅れ重症化するおそれがあります。

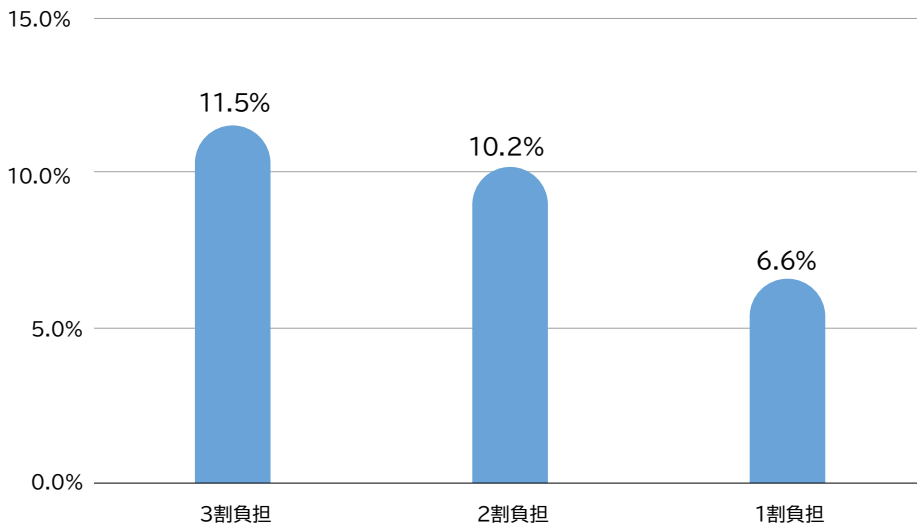
医療費負担に限らず、高齢者に対する悪政が続いています。2004年には「100年安心年金」と宣伝しながら、「マクロ経済スライ

ド」という、将来にわたって公的年金の支給額を抑制する仕組みが導入されています。

政府は「世代間の公平性をはかる」「現役世代の負担軽減」と言いますが、結局は高齢者への支出を抑制しようとしているだけです。現役世代と高齢者の対立をあおり、高齢者を「お荷物扱い」し、社会保障費全体の縮小を目論む政治を変えなくてはなりません。

まずは医療費負担を1割に戻し、高齢者の健康を守ります。また、後期高齢者医療制度を抜本的に見直し、お年寄りが安心して暮らせる年金を受給できるように年金制度をつくり変えていかなくてはなりません。

経済的負担で受診を控えた人の割合



出典) 日本医師会「患者窓口負担についてのアンケート調査」(2012年)